

エコアクション21 環境活動レポート

対象期間 2017年7月～2018年6月



YATOMI (株)弥富製作所

作成日 : 2018年 8月 24日

目次

1. 組織の概要・対象範囲 1P
2. 環境方針 2P
3. 環境目標 3P
4. 環境活動計画 4P
5. 環境目標の実績 5P
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容 6P
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無 7P
8. 代表者による全体評価と見直しの結果 8P

1. 組織の概要・対象範囲

<組織の概要>

- ◎事業所名及び代表者名 株式会社 弥富製作所
代表取締役社長 角谷 秀樹
- ◎所在地 愛知県西尾市鎌谷町元屋敷115番地
- ◎環境管理責任者名及び担当者連絡先
環境管理責任者：チームリーダー 磯谷 忠男 TEL:0563-56-2352
事務担当者：角谷 由梨 TEL:0563-56-2352
- ◎事業内容 ホイスト減速機・装置製造、自動車部品及び一般機械部品の製造
- ◎事業の規模
資本金 1,000万円
設立年月日 昭和29年4月創業
昭和62年5月株式会社設立
床面積 1,689㎡
従業員数 35人 (正社員 24人)
(嘱託・パート11人)
- ◎会社沿革
昭和29年4月 愛知県碧南市大浜上町にて創業
昭和31年4月 株明電舎西尾工場と取引開始
昭和45年4月 西尾市鎌谷町に移転
昭和60年4月 日本ガイシ(株)知多事業所と取引開始
昭和62年5月 株式会社 弥富製作所 設立
平成5年9月 角谷直樹 代表取締役就任
平成17年1月 制御盤ユニット組立開始
平成22年11月 株キトーと取引開始
平成23年11月 エコアクション21認証取得
平成26年11月 工場増築
平成29年7月 角谷秀樹 代表取締役就任

<対象範囲>

- ◎組織 株式会社 弥富製作所 本社・工場
- ◎活動 ホイスト減速機・装置製造、自動車部品及び一般機械部品の製造

2. 環境方針

<基本理念>

株式会社 弥富製作所は、一般産業用機械・装置製造活動を通じ、社員ひとりひとりが環境保全の重要性を認識し、事業活動の全ての過程において環境への負荷を継続的に削減するために、自主的かつ積極的に環境活動を推進します。

<基本方針>

1. 当社に適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 事業活動を通じて、具体的に下記の環境活動に取り組みます。
 - ① 省エネルギーに取り組み、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - ② 事業活動で発生する廃棄物排出量の削減を行うとともに、リサイクルの推進をします。
 - ③ 節水に努め、水使用量の削減をします。
 - ④ 化学物質使用量を管理して、削減に取り組みます。
 - ⑤ グリーン調達を積極的に進めます。
 - ⑥ 環境にやさしい製品製作や生産工程を推進します。
3. 環境保全に関し、地域社会との調和に努めます。
4. 環境方針を全社員に周知し、環境活動レポートを通じて、社内外へ情報提供を行います。

平成22年6月25日 制定
平成29年8月22日 改定

株式会社 弥富製作所
代表取締役社長

角谷 秀樹

3. 環境目標

作成者：環境管理責任者
環境目標変更日：2017年8月22日

※目標増減率は売上高換算値(基準年度の売上高に換算した負荷等の量)としています。

項目		年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
				(基準年度)	目標増減率	目標増減率	目標増減率
二酸化炭素の排出削減	kg-CO2			158,759	-3%	-4%	-5%
電力使用量の削減	kWh			285,574	-3%	-4%	-5%
化石燃料使用量の削減	ℓ			6,920	-1%	-11%	-20%
廃棄物量の削減	t			11.0	-2%	-10%	-15%
総排水量の削減	m ³			372	-1%	-2%	-3%
化学物質量の削減	—			在庫量の記録 を取る	在庫量の記録 を取る	在庫量の記録 を取る	在庫量の記録 を取る
グリーン購入	品目			グリーン品目の 購入に努める	グリーン品目の 購入に努める	グリーン品目の 購入に努める	グリーン品目の 購入に努める
環境にやさしい 製品の生産	—			不良低減 活動	外観チェッ クの徹底	納期管理の 強化	設備保守 管理の強化
地域活動	回			周辺の清掃 活動 2回	周辺の清掃 活動 2回	周辺の清掃 活動 2回	周辺の清掃 活動 2回

○実排出係数は、中部電力の実排出係数(0.497)(kg-CO2/kWh)(2014年度)を使用しています。

○化石燃料は、軽油・ガソリンの実績を対象としています。

LPGも使用していますが、微少のため、個別目標には入れていません。ただし、二酸化炭素には含んでいます

○廃棄物量は、日常的に発生する、産業廃棄物の廃プラスチックの実績を対象としています。

○廃プラの換算係数は0.35t/m³とします。

○化学物質は使用量が少ないため、PRTR法に該当しませんが、保管管理をしっかり行います。

○化学物質は取引先からの支給品ですので、数値目標化が困難です。

○環境にやさしい生産については、不良内容を顕在化することを目的としているため、数値目標はあげません。

4. 環境活動計画

活動計画作成日：2017年6月24日

対象	項目	取組内容	担当者 (委員会)	方法等
二酸化炭素	電力の使用量削減	エアコン使用時間と設定温度の徹底管理 (暖房:20度 冷房:28度)	高須	スイッチ一括管理 使用時間開始の放送 開始後の巡回
		エア漏れ点検及びコンプレッサ一点検	清水 (改善)	フィルター掃除 異常時対応
		デマンド管理	角谷由	月次一覧確認
	ガソリン・軽油の使用量削減	納品順路の効率化	磯谷	納品順路連絡の徹底
		アイドリング・ストップ等環境配慮運転の実施	高須	運転規則 7か条掲示
廃棄物	廃プラスチックの排出量削減	梱包資材の再利用	小田	梱包資材置き場の 定期清掃
		2S活動	森本 (5S)	昼礼後清掃、 大掃除 不用品の整理
	廃油の排出量	保管管理の徹底	中村紫 深水	保管物把握
	総排水量の削減	節水の徹底	角谷由	全体昼礼等での 啓蒙活動
	グリーン購入	グリーン品目購入の推進	中村紫 深水	購入時の マーク確認
	化学物質の削減	化学物質の入庫品の数量管理	小田	入庫表への記録
	環境にやさしい製品の生産	納期管理強化	小田 森本	作業票管理 進捗ミーティングで の情報共有
	地域活動	周辺の清掃活動	小田	川ざらい 草取り

5. 環境目標の実績

作成者：環境管理責任者

環境実績作成日：2018年8月21日

項目		年度		2017年度		
		2015年度 (基準年度)	売上換算 基準数値	目標増減率	実績数値	増減%
二酸化炭素の排出の削減	kg-CO2	158,459	201,243	-4%	197,303	-2.0%
電力使用量の削減	kWh	285,574	362,679	-4%	367,411	+1.3%
化石燃料使用量の削減	ℓ	6,920	8,788	-11%	5,981	-31.9%
廃棄物量の削減	t	11.0	14.0	-10%	6.90	-50.7%
総排水量の削減	m ³	372	472	-2%	395	-16.3%
化学物質量の削減	—	在庫量の記録を取る	在庫量の記録を取る	—	在庫量の記録を取った	—
グリーン購入	品目	グリーン品目の購入に努める	グリーン品目の購入に努める	—	グリーン購入に努めた	—
環境にやさしい製品の生産	—	不良低減活動	納期管理強化	—	納期管理強化のための活動を行った	—
地域活動	回	周辺の清掃活動	周辺の清掃活動	2	周辺の清掃活動	2

○実排出係数は、中部電力の実排出係数(0.497)(kg-CO2/kWh)(2014年度)を使用しています。

○目標増減率は売上高換算値としています。

売上高換算値とは、基準年度と売上比較をして、その係数を基準年度の各数値へかけた値です。

○2015年度売上高331(百万円)、2017年度売上高420(百万円) 売上比率は、1.27で計算します。

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

取組み期間(2017年7月～2018年6月)

活動評価作成日:2018年8月22日

※増減率は売上金額で換算した基準年度数値(売上高換算値)を基に計算しています。

取組み計画	達成状況等		評価(結果と今後の方向)
電力使用量の削減 ・エアコン使用時間と設定温度の徹底管理(冷房28℃ 暖房20℃) ・エア漏れ点検及びコンプレッサ点検 ・デマンド管理	基準年度	285,574 kWh	目標未達 デマンド管理は今年度も数値を変更せず実施した。最大電力を抑えるためにエアコンが60%稼働へと切り替わることが頻繁に発生したが、全員の協力のもと継続できた。使用時の放送と窓確認も浸透し、節電への意識が高まったと感じた。実績数値は+1.3%で目標未達となってしまった。原因としては設備を2台追加したり時差出勤も継続していること、扇風機の増加等が考えられる。働きやすい環境を整えることと節電をバランスよく実現できるように、どうしたら良いか検討が必要である。
	売上換算基準数値	362,679	
化石燃料使用量の削減 ・納品順路の効率化 ・アイドリング・ストップ等環境配慮運転の実施	基準年度	6,920 ℓ	大幅目標達成 定期トラック便の有効活用により、2tトラックでの納品がなくなり売却したため、軽油購入がなくなった。納品や外注先への持ち込み等も、納期管理強化のために情報共有を活発にすることでさらに計画的に行えた。朝礼・昼礼の行先確認は、担当者以外へも意識付けができたと思う。毎日の積み重ねが大幅な目標達成を実現したと感じている。
	売上換算基準数値	8,788	
廃棄物の削減 ・梱包資材の再利用 ・2S活動 ・管理の徹底(廃油等)	基準年度	11.0 t	大幅目標達成 床再塗装に合わせて、不用品整理を行った。昨年からは少しずつ実施してきたため、極端に廃棄物量が増えることがなかった。また、梱包資材の再利用も積極的に行っていて、大幅な目標達成となった。全体昼礼で廃棄物処理費用について話し、経営的観点からも削減していくことが重要であることを理解してもらった。次年度は、リサイクルスペースを整備し、一人一人の意識を高めていく。
	売上換算基準数値	14.0	
排水量の削減 ・節水の徹底	基準年度	372 m ³	目標達成 昨年度に蛇口の締め忘れがあったため、長期休み前は締め忘れがないように連絡をしていた。目標達成できたが、新しい社員の方も増えてきているので、次年度は節水啓蒙活動や配水管の異常時の報告連絡等、基本の確認をしていきたい。
	売上換算基準数値	472	
化学物質 ・化学物質の保管管理	基準年度	入庫量の記録を取る	目標達成 取引先からの入庫量を記録した。
	実績		
グリーン購入 ・グリーン品目の購入に努め	基準年度	—	目標達成 物品購入の際、グリーンマーク等がついているものを優先的に選択し、グリーン購入に努めた。
	実績	グリーン購入	
環境にやさしい製品の生産 ・不良低減活動	基準年度	—	目標達成 リーダーミーティングでの情報共有を積極的に行った。また、優先順位を早くから決め、事前取引先へ納期調整を依頼しておくことで、現場での混乱を少なくするように努めた。不要な焦りやあいまいな情報は不良発生を引き起こすことにつながるので、次年度の設備保守の強化とともに引き続き活動していきたい。
	実績	納期管理の強化	
地域社会との調和 ・周辺の清掃活動	基準年度	— 回	目標達成 川ざらいと草取りを行った。
	実績	2 回	

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

承認(社長)	作成(責任者)

今年度、環境に関する苦情、違反、訴訟等の指摘はありませんでした。
 なお、過去3年間とも上記指摘はありませんでした。

評価者：環境管理責任者

法の名称	法の基準・規制値	当社の遵守・管理項目	評価年月日	関係資料
廃棄物処理法	・廃棄物収集・運搬・処理業者との委託契約 ・保管場所の確保と掲示 ・廃棄物の飛散・流出・浸透しない ・マニュアルの発行及び管理 A票の保管 B2票・D票は90日以内返却 E票は180日以内返却 A,B2,D,E各票は5年間保管	委託契約書の締結・県知事許可証の確認 委託処理業者の施設の現地確認をする 保管場所に掲示する 飛散・流失・地下浸透の確認をする 廃棄物毎、処分事業所毎に発行の確認 A票の保管の確認をする B2票・D票は90日以内返却確認をする E票は180日以内返却確認をする A,B2,D,E各票は5年間保管確認 交付等状況報告書の提出	その都度 発行時 その都度 その都度 その都度 2018.6.26	委託契約書 集運処理許可証 マニフェスト台帳 マニフェスト台帳 マニフェスト台帳 マニフェスト台帳 報告書
浄化槽法	保守点検1回/3ヶ月 法定検査(11条検査)1回/年 ・外観、水質、書類検査 清掃1回/年	保守点検1回/3ヶ月を確認する 業者：西尾衛生社 法定検査(11条検査)1回/年 指定機関：財)中部微生物研究所 ・外観、水質、書類検査 浄化槽清掃 ・事業者：西尾衛生社	保守点検 2017.7.6 2017.10.13 2018.1.5 2018.4.10 法定検査 2017.7.6 清掃 2018.4.3	・浄化槽保守 点検報告書 ・浄化槽法定 検査結果書 浄化槽清掃届
PCB特措法	適正管理と法定届出	PCB表示と適正保管 年1回の届出	2018.6.26	2018.9処分予定
騒音規制法	都市計画区域以外の地域に該当 規制基準(単位：デシベル) 昼間：60 朝・夕：55 夜間：50	騒音規制法に定められている 届出を提出	届出提出済	特定施設 設置届書
振動規制法	都市計画区域以外の地域に該当 規制基準(単位：デシベル) 昼間：65 夜間：60	振動規制法に定められている 届出を提出	届出提出済	特定施設 設置届書
フロン 排出抑制法	フロンの回収・運搬・破壊の費用 の支払い フロン取扱許可業者に渡す 簡易点検	購入費用・領収証の確認 払込兼受領証の受領確認をする 簡易点検の実施	廃棄品なし —	簡易点検表
家電リサイクル法	引取業者への適正な引渡し リサイクル料金の支払い 家電リサイクル券の写し受領 排出者向け引取り確認 「廃冷媒の発生」は家電リサイクル 法に準じて管理・処理する	購入店への引渡しをする 収集運搬料・リサイクル料金の支払 家電リサイクル券の写し受領の確認 家電メーカーへの引渡しの確認	廃棄品なし	
自動車リサイクル法	引き取り業者への適正な引渡し リサイクル料金の支払い 引取り業者より引取証明書の受領	登録された引取り業者への引渡し確認 メーカーが定める預託証確認 引取り証明証の受領の確認をする	廃棄品なし	参考 買取証明書
消防法(危険物)	指定数量以上に貯蔵、取り扱う場合 や危険物を運搬する場合に適用	第一石油類の指定数量(200ℓ)の 1/5以下の貯蔵、取り扱いとする。		
県民の生活環境の 保全等に 関する条例	環境問題への対策	アイドリンク・ストップの看板掲示 社員教育	定期的に 啓蒙活動	
取引先	(株)キトー、半田重工業(株)、 (株)明電舎の取引先調書	エコアクション21取得と回答		

